

# 「恋人の聖地」に認定 遠野・めがね橋

ライトアップされためがね橋をバックに行われた「恋人の聖地」認定セレモニー



遠野市宮守町のJR釜石線宮守川橋梁、通称「めがね橋」が、静岡市に本部を置くNPO法人（特定非営利活動法人）地域活性化支援センターから「恋人の聖地」に認定され、二十日夜、モニメントが設置された道の駅「みやもり」緑地公園で、未来の恋人にあってラブレターを書いた遠野高校情報ビジネス校三年生も参加してセレモニーが行われた。

提供と晩婚化・未婚化の抑止を目的に同NPO法人が認定しており、めがね橋は全国で七十八カ所目。県内では岩手町の石神の丘美術館に次いで二番目の認定。

恋人の聖地は、魅力ある観光・ドライブ情報の

いい思い出をつくってほしい」と期待を寄せた。セレモニーでは「恋人の聖地」の銘板をほめ込んだモニメントの除幕が行われた後、二十二年

春開校する同校三年生三十四人が未来の恋人にあてて書いたラブレターが、生徒代表の菊池祥平君から施設を管理するめがねばし直売所の福地千津子組合長に手渡された。福地組合長は「すてきな恋人を連れてきてください」と生徒に声を掛けた。

直売所に保管されたラ

ブレターは近い将来、恋人ができた生徒本人の申し出で返却され、モニメントの前で恋人に渡す決まりになっている。佐々木百恵さんは「二日間かけて、全員が書きました。みんなそれなりに真剣に書いたようです。でも（恋人に渡すのは三、四年先になると思います」と話した。